

**令和 6 年度
全国学力・学習状況調査
学校の調査結果**



**令和 6 年 12 月
海老名市立今泉中学校**

令和6年度

全国学力・学習状況調査について

調査の目的

- (1)義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2)学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3)そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

調査内容

(1)教科に関する調査(国語、数学)

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能 等
- ② 知識・技能を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力 等

調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。出題形式については、国語及び数学においては、記述式の問題を一定割合で導入する。英語においては、「聞くこと」、「読むこと」、「話すこと」及び「書くこと」に関する問題を出題し、記述式の問題を一定割合で導入するとともに、「話すこと」に関する問題の解答は、原則として口述式によるものとする。

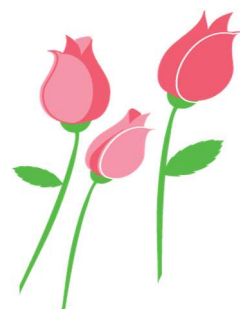
(2)生活習慣や学習環境等に関する質問調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面等に関する調査	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件の整備の状況等に関する調査

調査実施日

令和6年4月18日(木)

※児童生徒質問調査について、児童生徒が活用するICT端末等を用いたオンライン方式により実施



中学校 国語

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・話し合いをする場面において、必要に応じて質問しながら話の内容を捉えたり、資料を用いて自分の考えがわかりやすく伝わるように話したり、意見と根拠など情報と情報との関係について理解したり、他者の発言と結び付けて自分の考えをまとめたりすることができるかどうかをみる。
- ・説明的な文章を読む場面において、文章と図との関係を踏まえて内容を解釈したり、具体と抽象など情報と方法との関係を理解したり、主張と例示との関係を捉えたり、目的に応じて必要な情報に着目して要約したりすることができるかどうかをみる。
- ・物語を創作する場面において、集めた材料を整理して伝えたいことを明確にしたり、文の成分の順序や照応について理解したり、文脈に即して漢字を正しく書いたり、表現の効果を考えて文章を工夫したりすることができるかどうかをみる。
- ・短歌を紹介するための資料を作る場面において、表現の技法を理解したり、短歌の内容について描写を基に捉えたり、行書の特徴を理解したりすることができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的にできている点

- 目的や意図に応じて、集めた材料を整理し、伝えたいことを明確にすることができる。
- 文脈に即して漢字を正しく書くことができる。
- 資料を用いて、自分の考えが分かりやすく伝わるように話すことができる。
- 具体と抽象など、情報と情報との関係について理解することができる。

◆課題のある点

- 全体的に、思考力・判断力・表現力の C 読むことの内容と記述式の問題形式に課題が見られる。
- 意見と根拠などの情報と情報との関係について理解することに課題が見られる。
- 問題文の「解答するときの条件」を見落としている生徒が多く見られる。
- 目的に応じて、必要な情報に着目して要約することに課題が見られる。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 意見と根拠など、情報と情報の関係を理解できるように、文章を読むときや自分の意見を話したり相手の意見を聞いたりする場面で、丁寧に指導します。
- 問題に解答するときは問題文を丁寧に読み、解答に必要な条件を見落とさないように指導します。
- 文章を読むときには大切な部分に線を引かせるなどし、必要な情報に着目できるように丁寧に指導します。

中学校 数学

出題された調査問題の内容（出題の趣旨）

- ・数量及び数量の関係を文字式で表したり、等式を目的に応じて変形しながら数学的に処理したりすることができるかどうかをみる。
- ・事象の特徴を正確に捉えたり、筋道を立てて事柄が成り立つ理由を数学的な表現を用いて説明したりして、図形の性質や関係、数に関する事象を統合的・発展的に考察することができるかどうかをみる。
- ・表やグラフなどを数学的に処理したり、数学的に表現したことを事象に即して解釈したりして、関数の関係やデータの傾向を読み取り、考察することができるかどうかをみる。
- ・簡単な場合について、確率を求めることができるかどうかをみる。

本校の調査結果

◆比較的にできている点

- すべての領域において、全国や県に比べ正答率が高く、計算問題を解く力は概ね身についている。
- 特にA数と式、C関数、Dデータの活用の領域は、平均正答率が60%を超え、中でもC関数の領域の「グラフの交点における事象に即して解釈する問題は正答率が88%と高い。

◆課題のある点

- B図形の領域は、全国や県より正答率は上回っているものの、角の大きさについて説明をする問題に関しては、正答率が36%となっている。角の大きさに着目し、問題解決の過程や結果を振り返りながら、新たな性質を見出すこと等に課題が見られる。

今後の具体的な指導改善のポイント

- A数と式の領域に関しては、計算問題を解く力をさらに伸ばしつつ、正答率がやや低かった「 n を整数として、連続する2つの偶数の表し方」等、文字の式に関する学習内容を再確認します。
- B図形の領域に関しては、証明の流れを再確認するとともに、既習事項を用いて新たな課題を解決する力を育てられるよう授業改善を図ります。

生徒質問紙

学習について

◆本校のよかったところ

- 「学級の生徒との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、新たな考え方に気付いたりすることができていますか」という質問に対して「当てはまる・どちらかといえば当てはまる」と答えた生徒が 92.5% いました。神奈川県 averages より 7 ポイント上回っています。生徒同士の対話の場を設けた授業により、話し合いがよりよい学びに繋がっています。
- 「1、2年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか」という質問に対し、「発表していた・どちらかといえば発表していた」と答えた生徒が 76.7% おり、全国平均と比べて 11.9 ポイント上回っています。生徒の表現の幅が増え、力がつき、自信をもって発表ができていると考えられます。

◆本校の課題と思われるところ

- 「授業で学んだことを、次の学習や実生活に結び付けて考えたり、生かしたりすることができますか」という質問に対し、「当てはまる、どちらかといえば当てはまる」と答えた生徒が全国平均で 79% おり本校では 74.6% でやや下回っています。生徒は、学校生活の中でたくさんの情報や経験を積みます。その中で、具体的に次の場面はこうしていこうというところまで考えが行きついていないことが考えられます。慌ただしい生活の中でも、自律に向けて、少しでも自分の考えをもったり、習慣を見直せたりできるとよいです。

生活について

◆本校のよかったところ

- 「人が困っているときには、進んで助けていますか」という質問に対し、「当てはまる、どちらかといえば当てはまる」と答えた生徒が 94% おり、全国平均と比べてやや上回っています。ほとんどの生徒が助けようとする気持ちをもつことができています。また、助けられないこともたくさんありますが、相手の困った様子を察することができる人はたくさんいます。助け合う気持ちをもつことで、救われる人がいます。これからも助け合う気持ちを大切にしたいです。

◆本校の課題と思われるところ

- 「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか」という質問に対し、「よくある」と答えた生徒が 35.1% で、全国平均と比べて、9 ポイント下回っています。「ときどきある」と答えた生徒が 51.9% いますが、あまりない・全くないと答えた生徒が 13% います。些細なことでも幸せと感じられるような時間を作ったり、「楽しい」と感じられることを増やしたりできるとよいです。

今後の具体的な取組について

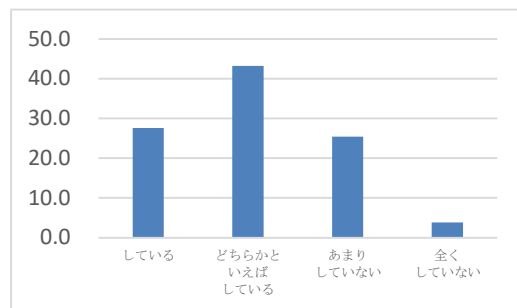
- ICT機器を活用した授業の研究を継続します。個の学習の充実を図るため、一人一台端末をより効果的に学習に生かせるようにします。加えて情報リテラシー教育を充実させます。
- 「学校などで学んでいることを、これからどう活かしていくか」ということについて、日常生活や社会とのつながりを意識した活動を進めていきます。これからの社会を生き抜く力の育成として、校内研究を進めていきます。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと

令和6年度全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の生徒質問紙の結果です。

1 規則正しい生活続けましょう

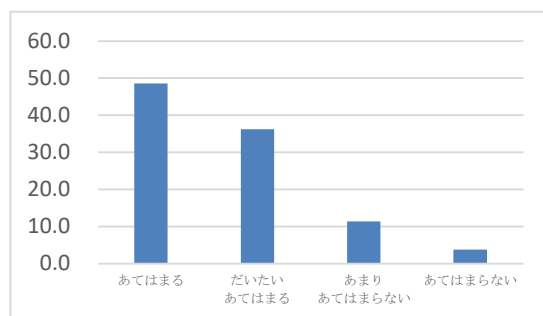
早寝早起き朝ご飯。これは生活全体のリズムを保つうえでも大切なことです。1日活動するための脳や体の準備ができやすくなります。また、睡眠の質を高めることもできます。



毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか

2 子どもを認め、褒めましょう

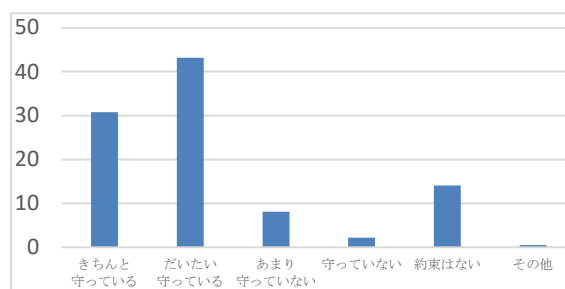
子どもを褒めることで自己有用感、自己肯定感が高まるといわれています。将来に向けて子どもが自信をもって取り組めるよう、近くの大人在積極的に褒める声を掛けていきましょう。



自分にはよいところがあると思いますか

3 スマートフォン等についてルールを知り、守れるようにしましょう

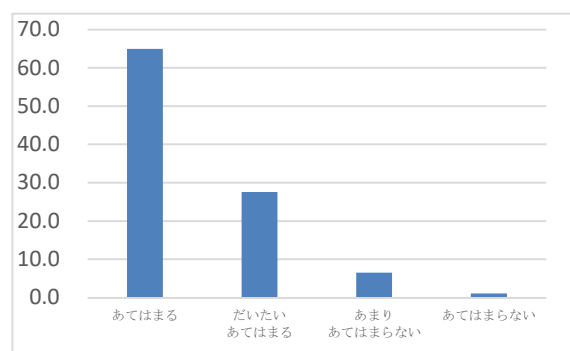
スマートフォン等、SNSで他者とやり取りをする中で、相手を傷つけたり、事件に巻き込まれたりする例が県内でも起こっています。ルールを決め、未然防止に努めましょう。



携帯電話・スマートフォンやコンピュータの使い方について、家の人と約束したことを守っていますか

4 他者を尊重する気持ちを大切にしましょう

いじめはどんな理由があってもいけないことです。わかっている、はっきりと言葉にしたり行動に移したりするのが難しいこともあるでしょう。正しい行動をためらわないよう、普段から相談し合えるようにしましょう。



いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか

文部科学省における学習指導の改善・充実に向けての主な取組

1. 調査結果を活用した追加分析等

- 令和6年度までの調査の結果を活用した追加分析
- 個票データ等の貸与

2. 学習指導要領の着実な実施

- 主体的・対話的で深い学びの視点からの授業改善
- 授業改善に資する情報提供等(国立教育政策研究所)

3. 児童生徒の豊かな心をはぐくむ取組の推進

- 道徳教育や特別活動、体験活動、生徒指導など学校教育活動全体を通じて児童生徒の豊かな心をはぐくむ取組を推進

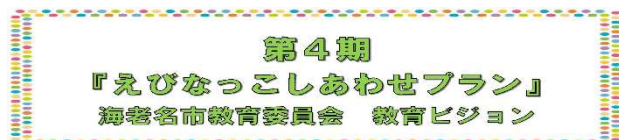
4. GIGA スクール構想の更なる取組の推進

- 自治体・学校への伴奏支援の取組
- 学校の ICT 環境整備の推進
- 校務 DX の推進
- 学校の ICT 環境を活用した取組

5. 教師を取り巻く環境整備

- 学校の指導・運営体制の充実
- 教師の育成支援の一体的推進
- 教職員定数の改善や業務支援スタッフの充実に係る支援
- コミュニティ・スクールと地域学校協働活動の一体的な取組の推進

海老名市における学習指導の改善・充実に向けての主な取組



キーワードは「**包摂性**」
誰ひとり取り残さない教育
実現をめざします



①授業改善の実践 ②教育支援体制の充実 ③みんなで取り組む学校づくりの推進

＜①授業改善の実践＞

- 「主体的・対話的で深い学び」を追求し、授業改善を継続します
- 子どもたちが主体的に学習に取り組むために、よりよい学習計画の在り方についての研究に取り組みます
- 「協働的な学び」の実践を重点として、授業改善の研究に取り組むとともに、「個別最適な学び」の実践も積み重ねます
- 教職員が主体的に学ぶ研修の場の充実を図ります。

【市の結果についての問い合わせ先】
海老名市教育委員会教育支援課 指導係
電話 046-235-4919